

道徳通信

～「紙芝居」～

愛西市立八開中学校
道徳通信
令和3年10月20日
赤ブロック職員No. 2



「紙芝居」～道徳「よりよい社会の実現のために」を通して考えました～

文芸部に、地域の子供たちのために、紙芝居を上演してほしいという、ボランティアの話がきます。部員6人で議論しますが、「私」は気が進みません。けれど、この活動を知っていた章太郎が、「子供たちが紙芝居を楽しそうに見ていた」と発言したことをきっかけに、部員全員で参加することになりました。当日は、会場係などの仕事も任され、てんてこ舞いの部員たち。上演後、笑顔で帰る子供たちを見て、「私」も心で、ガッツポーズをします。帰り道、みんなには、目の前の景色が今までと違って見えるのでした。

文芸部ですることになった紙芝居のボランティアの話を通して、社会に積極的に関わっていくことの意味や大切さを考えました。

1年青 ●● ●●さん

誰かの意見を尊重して、やってみることで考えが変わることがある。また、違う視点から見た時は意見が変わってくることがあることがわかった。募金をしたり、地域のボランティア活動に参加したりしていきたい。

2年青 ●● ●●くん

自分は、嬉しいからだとか楽しかったからなどしか思いつかなかったけど、他のグループの意見を聞いてやりがいを感じたからなどという意見を聞いてなるほどなと思った。2つの意見の中間の意見が出た時、否定はせずに真ん中の意見もあると認められていたのがとても参考になる姿勢だと感じた。

3年青 ●● ●●くん

「私」の気持ちである「達成感」や「成長」などの考え方や感じたことの意見がたくさん出てきたので、いろいろまとめることで前回より深まったような気がします。少しでも社会の役に立てるような行動を自分からしていきたいです。

1年赤 ●● ●●さん

経験をする事は、大切だと思います。経験をすることでいろいろなことが変わるからです。地域の人に役立つことをしていきたいと思いました。

2年赤 ●● ●●さん

よりよい社会にするには、自分が社会に貢献しようという意思が大事だと思う。人が喜ぶことをしたり、人の手助けをしたり、社会のためにボランティアをしていきたい。

3年赤 ●● ●●くん

地域の活動に参加していきたい。自分のできる小さな行動一つで地域を助けられるかもしれないと思った。ボランティアを続ける上でやりたくないと思うことはあるけど、諦めずに続けることで笑顔などの達成感を得られると思った。

1年黄 ●● ●●くん

ゴミを分別する。ゴミが落ちていたら拾って捨てる。会計でもらったおつりを募金する。物を大切にする。小さなことの積み重ねが大事だと思う。

2年黄 ●● ●●くん

よりよい社会を実現するために、今すぐできることならどんなに小さいことでもやってみようと思った。

3年黄 ●● ●●さん

よりよい社会の実現に私たちが出来ることは沢山あるのに実行できていないことを知ることができた。今すぐに出来ることでも気づかずにできていない事が多く、自分とは違う考えを知っても行動に移せるか分からない。自分に何が出来るか考え続け、実行していく。